



のびるたけの子

3月号

令和6年2月29日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。
【体】健康な心と体を育み、自他の生命や健康を大切にする子を育てます。
【公開】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。
【開】人とコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

『温かさ』に守られた勝田小の子

校長 石澤 康史

2月に、雪が降り少し積もった日がありました。その朝のことです。降った雪は凍っていませんでしたが、それでも足元は滑りやすく、私は履く靴や歩き方に気を付けて出勤しました。

せせらぎを抜けて団地に差し掛かると、雪かきをしている方が何人かいました。学校に向かってさらに行った所でも雪かきをしている方がいらっしやいました。私はその方に、「朝早くからお疲れ様です。大変ですね。」と声を掛けました。するとその方は、「ここは子どもたちもたくさん通るから危ないので。」とおっしゃいました。更に「ずいぶん長い距離をかいてくださり、ありがとうございます。」と言う私に「自分の棟の前だけしかできません。」と何だか申し訳無さそうに伝えられました。

別の日、朝から雨が降ってとても寒い日がありました。その日は、地域の方が子どもたちの授業に講師として来てくださる日でした。その方は「雨でも行きますね。」と事前にわざわざ電話もくださり、約束通りに来られました。

また別の日、まちたんけんで地域のお店や施設など約10ヶ所を子どもたちが訪れる学習がありました。事前学習で行きたい施設を決めて、人数が偏らないように調整しました。それでも1ヶ所に20名近くが行くのですから、受け入れる皆様は大変です。

どちらも、新たな経験や発見をしたり、ものを見る目や考えが広がったりする豊かな時間になりました。

この様に、勝田小の子どもたちはもちろん、教職員も多くの方々の『温かさ』に守られ応援していただいています。学校教育目標に掲げている、自他を尊重することや自他の生命や健康を大切にする事は、こうした『温かさ』の中で育まれると考えています。私は勝田小の子どもたちに笑顔いっぱいになって欲しいと願っています。このような『温かさ』の手本が身近にたくさんあるので、それも実現できるだろうと感じています。

寒い冬ですが『温かさ』に満たされています。どうもありがとうございます。